

2015

2月号

念仏のこころに生きる生活を

高岡教区

教区報

連研新教材普及学習会が開催

去る一月二十八日、西本願寺高岡会館に

於いて連研新教材普及学習会が開催された。

本研修会はこの度発刊された連研ノート

Eの普及、及び実際に連研の運営に携わっ

ているスタッフにノート内容の周知および

テーマ設定のねらいや趣旨等の説明を目的

として宗派で企画されたもの。高岡教区で

は連研活動推進協議会委員を対象として開

催した。

講師の松野尾慈音さん（研修講師・東海

教区額田組明願寺住職）の講義の中では、

高岡教区より事前に提出されていた、今

回特別にこのような研修会を設けた理由、

新たな連研開催要項ではE以外のノート

は使つてはいけないということなのか、

差別・ヤスク二問題の扱いが今までと異な

るのでは、等の質問に対して回答があり、

本研修会開催の意図は「新体制の中で連研

も今までと変わるのでは」という認識があ

る中で、「連研は今までの方向性・路線を引

き継いでいく」という確認・徹底のためと

した。

また、については、「基本的に」という

文言になっているのは現在増加している講

話し合い法座及び社会の課題という
連研の中核を外させないためとした。

に関しては、「神と仏」という問いの

ねらいは寺檀制度と氏子制度は個人の意志

や信仰に関係なく当時の国家権力によって

強制されたという面では同一であり、その

ような『お付き合い・束縛』ではなく個人

のよりどころと、帰依を主眼として設定」

「差別に関しては部落差別以外にも様々な

差別が存在するという現実を無視する事は

できないという観点から、複数の差別問題を

を提示する形とした」と回答された。

高岡教区で連研が始まったのは昭和五十

三年、すでに三十七年目を迎え、現在まで

に四百五十名を超える門徒推進員が誕生し

ている。

ただ、当初からの問題として、組だけで

なくスタッフ間でも連研に対する理解や意

識に差があり、趣旨や理念が共有されない

中で、それぞれ目的が異なるまま連研が行

われているという問題点も指摘されている。

特に近年では受講者層が今まで仏事など

に全く触れてこなかった方が大半を占める

ようになり、話し合い法座の進め方や教材

の選定等が課題としてあげられ、現在の高

岡教区では連研ノートD、教区独自で作成

順番を組み替えた独自ノートも使用されて
いる。

そのような教区事情に対し、講師の松野

尾さんは、「体制が変わったからといって、

連研が変わるのではなく、あくまで従来の

基幹運動の理念と願いを受け継いでいくと

いうことを主眼にノートEを作成しまし

た」と繰り返し押さえられ、「教区や組でも

独自ノートを順次バージョンアップしてい

くことと思いますが、その際にはこの連研

ノートEの問いをこー考えたければ幸い

です」と締めくくられ閉会した。

東日本大震災追悼法要を勤修

2015年3月11日（水）西本願寺高岡会館礼拝堂
にて東日本大震災追悼法要を勤修いたします。震災
発生時刻の午後2時46分より開式し、正信偈のお
勤めの後、現在の福島放射能汚染の現実につい
て花田真司さん（メディアファーム代表・フリージ
ャーナリスト）編集の映像を鑑賞、花田さん本人よ
りご講演をいただきます。詳細は別紙チラシをご覧
ください。

「教区仏教婦人会連盟新年会に九十二名が参加

そんなこともあり、今日、皆さんにお伝えしたいことは『語り継ぐ』ということ

教区仏教婦人会連盟の新春を迎えての新年会が一月二十八日(水)、高岡ニューオータニホテルを会場にして催された。教区役職者を来賓にお招きし、仏教婦人会会員を合わせ九十二名が参加して親睦を深めた。

新年会の宴会に先立って西岡孝了教務所長から新春法話があり、「今年は阪神大震災が発生して二十年の年に当たる。大阪の地元新聞に震災関連の記事が、『語り継ぐ』をテーマに連載されている。これまで語れなかった方が、語られるようになった。そこには震災を知らない人が四割を超え、自分の大切にしていた人の思いや苦しかった事柄をわかってくれる人がいなくなっていく。そんな中で、自分が大切にしていることを人々の記憶に留めていってほしい、多くの人に知っておいてほしい、という思いを強く持つようになったから。あるいはまた、語ることによって改めて自分自身で気が付くこともあるということであった。



んな中で、自分が大切にしていることを人々の記憶に留めていってほしい、多くの人に知っておいてほしい、という思いを強く持つようになったから。あるいはまた、語ることによって改めて自分自身で気が付くこともあるということであった。

と。仏教婦人会の営みの原型というものは、宗祖親鸞聖人の奥様の恵信尼様が、宗祖ご往生の後、娘の覚信尼様に宛てられたお手紙の中に、宗祖のご生涯を讃えられるとともに、生活の中で聞かれたみ教えの根本を切々と語られたことにあると味わっている。恵信尼様から覚信尼様への伝統ということがあり、さらには覚如上人がお聞きになったものをまとめられた『御伝鈔』など、本願寺の歴史は書かれたものだけではなく、親から子へ、子から孫へと語り継がれてきたものが軸になっている。各家庭でもお念仏の教えを語り継いでいっていただきたい」と、各家庭でお念仏を子や孫に語り継ぐことの大切さを話された。

新年会では、最初に石野順子仏教婦人会連盟委員長が挨拶。続いてが来賓を代表して岡西法英教区会議長から、「私たちの教団は、女性によって伝えられ支えられてきたという歴史がある。教団を取り巻く状況が厳しいからこそ、これからの仏教婦人活動に期待するところですよ」との挨拶があった。宴会のアトラクションでは、射水組光覚寺仏教婦人会の皆さんがフラダンスを披露され、参加者は優雅な舞いに見入っていた。また、元民謡日本一の歌い方もおられる高岡城峰会による『五箇山民謡』と『おわら節』が披露され、声量豊かな美しい歌声が会場内に響き渡った。余興ではビンゴゲームが行われ、新年会のお土産として選んでもらった。



中締め
の挨拶で
は、北鹿渡
文照組長
会長から
仏教婦人
会連盟へ
の激励の
言葉をい
ただき、最
後に大場
洋子副委
員長が来

賓並びに参加者への謝辞を述べて閉会となった。

前進座特別講演のお知らせ

「『如月の華』 一九條武子ものがたり」
2015年6月24日(水)高岡市文化ホールにて前進座特別講演「如月の華」一九條武子ものがたりが上演されます。

料金等、詳細につきましては、後日お知らせいたしますが、皆様におかれましては、この機会にぜひ、観劇くださいますようお願い申し上げます。

御同朋の社会をめざす運動の「コーナー」

「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会報告

二〇一四年度第二回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会（以下、「中央委員会」）が、一月二十一日伝道本部で開催され、山名一徳教区選出中央委員の代理で出席しました。

今回の中央委員会は、宗派の運動が三年目を迎え、その点検と見直しが多くなる協議事項でした。

中央委員会では、実践運動及び重点プロジェクトの推進状況が報告されました。引き続き、御同朋の社会をめざす運動（実践運動）に関する各教区委員会からの報告集計、昨年七月に実施された全国組長研修会でのアンケート、及び昨秋に実施された公聴会での実践運動に関する討議内容が報告されました。さらに、「実践運動・重点プロジェクトのさらなる推進について（試案）」と名付けられた三カ年度の総括的文書、新年度以降の「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）案」が提示され、協議されました。

協議では、基幹運動の成果と課題とは何か、成果は継承されているのか、宗教教団の社会貢献とは、提示された「社会の山積する課題」の内容と、重点のない並列的提起のありかたについて、総合テーマについて、重点プロジェクトの推進期間について、等を巡って宗派中央事務局と教区選出委員の間で主に意見が交わされました。

の協議では、この度の案文を提示し、「教化団体の活性化や門徒推進員の養成などを通して組・教区活動を活性化させたこと」と、「私と教団のあり方を問い、差別・被差別からの解放をめざすことを通して、人々の苦悩に向き合う活動を充実させてきたこと」を成果として提示。「教えを宗門内外に広く伝えていくこと、従来の枠組みを超えた多様な活動をより広く実践していくことが課題」と説明されました。これに対し教区選出委員から、「私たちの先人はそのお心を受け、『御同朋・御同行』と互いに敬愛し、み教えをまもり広

めていこうと努めてこられました」との案文での認識は、「教団の差別・競争への加担の事実を直視するという基幹運動の理念を継承していないのではないか」など、運動が継承されていない事実を指摘する発言が相次ぎました。

総合テーマをめぐっては、十八教区から変更を求める意見がある中で、現行のテーマと、「結ぶ絆から、広がる縁へ〜自他共に心豊かに〜」の二案が提示されました。出席委員からは「テーマとは主題を表すものであるにも関わらずこれではふさわしくない」「絆・縁とも用語として不適切」等の意見がある一方、「三年で変更するのは如何か」との発言がありました。推進期間、及び教区委員の二期四年の任期制限については、検討しているが組長など役職者改選時期まで二〇一六年度を前に提案すると回答があり、実質先送りされました。

新年度からの「計画案」は、この度の協議を受け、一月末までに宗派中央の総局会議で決定し、企画諮問委員会、常務委員会に報告・了承後、確定されるそつです。

今回の中央委員会には、福岡教区から、「専如門主が『消息』で示された決意に回答する運動を宗門あげて展開しよう」として、「集団的自衛権の解釈見直しに対する宗派としての批判声明を出すこと」を求める意見具申。同教区から「同朋運動の経緯と教学課題研究の現状を公開したテキストの作成」を求める意見具申がされました。さらに沖縄県宗務特別区から「沖縄差別からの解放をめざす実践運動」と題し、アメリカ力軍基地・新基地建设に対する宗派表明を求める意見具申がされました。

なお当日の協議で、戦後七十年の取り組みとして、総合研究所で千鳥ヶ淵全戦没者法要に際して本年九月一七日、築地本願寺でパネル展を計画中の報告がありました。

これからの日程 (2 / 2 0 ~ 3 / 2 0)

2月		
20		
21	中仏生のつどい	仏壮中央研修会
22	さくら保育園作品展 仏壮ボウリング大会	(~ 2 2 ・ 本山)
23	水波組聞法のつどい	第 2 連区職員研修協議会
24		(~ 2 4 ・ 東海)
25	長寿苑ビハーラ活動 教区コーラス練習日 組長会	定期宗会 (本山)
26	連研のための研究会 寺女執行部会	
27	射水組巡回	
28	門徒推進員研修協議会	
3月		
2	災害救援専門委員会	
3	第 1 B 門徒総代研修会 仏婦執行部会	
4	第 3 B 門徒総代研修会 雨晴苑ビハーラ活動	
5	仏壮理事会 第 2 B 門徒総代研修会	
7	連研履修者研修会	
10	教区コーラス練習日	
11	東日本大震災追悼法要	
12	講社連盟役員会	寺院女性会連盟研修旅行
13	仏婦組織教化部会	(~ 1 3 ・ 本山)
14	常例法座	
16	龍谷教学会議	
19	第 4 B 門徒総代研修会 仏婦常任委・単位会長会議	
20		



ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 (K N B) ・ 7 3 8 k H z .
毎週土曜日 (本山制作) 午前 6:15 ~ 6:25
第 2 ・ 4 日曜日 (富山・高岡制作) 午前 6:00 ~ 6:10

- 2 / 14 (土) : 藤澤 めぐみ 氏 (京都府 ・ 興禅寺)
「 仏さまを仰ぐ 」
- 2 / 21 (土) : 藤澤 めぐみ 氏 (京都府 ・ 興禅寺)
「 礼儀と作法 - お寺に親しむために - 」
- 2 / 22 (日) : 嵩尾 憲昭氏 (高岡教区 ・ 尊徳寺)
- 2 / 28 (土) : 藤澤 めぐみ 氏 (京都府 ・ 興禅寺)
「 亡き人を偲ぶご縁として - お墓と納骨 - 」
- 3 / 7 (土) : 藤澤 めぐみ 氏 (京都府 ・ 興禅寺)
「 仏縁を深めよう 」
- 3 / 8 (日) : 未 定 (富山教区)
- 3 / 14 (土) : 天野 敦子 氏 (北海道 ・ 誓報寺)
「 未 定 」

【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

ご講師： 河 合 宣 彰 氏
(高 岡 教 区 ・ 等 覚 寺)

ご講題： 『 未 定 』

午後 1 時 2 0 分 頃 から ビデオ 上映、 2 時 か
ら お 正 信 偈 六 首 引 の お 勤 め で す。 どうぞ お 誘
い あ わ せ て お 参 り く だ さ い。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。
FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り
一袋二枚入りで価格は次の通り
・特大箱 (170 袋) 8 , 3 0 0 円
・大 箱 (36 袋) 2 , 3 0 0 円
・ 1 組 (10 袋) 5 0 0 円

お申込み先は…〒933-0003 高岡市能町1298
耳浦 康真(本誓寺) Tel.&Fax.(0766)23-9822

編集後記

いよいよ北陸新幹線が開業します。この日を待ちに待った方も多いのではないのでしょうか。しかし、良いことばかりではありません。新幹線にかかる地元の負担、借金は二千億円を超えるそうです。どうやって返済していくのかを考えると、やはり次の世代に残されていくのではないかと思えます。

これだけの借金をして、新幹線が北陸で開業することに対して、未だに疑問を持っている方も少なくないのではと思います。

しかし、近い将来、新幹線が出来て良かったと言われる方が少しでも増え、次の世代の方にも、先人達の街造りを理解してもらえらるよう、今ここで暮らしている私たちにできることは何かを考え続けなければならぬのではないかと思います。